

2. 調査結果の詳細

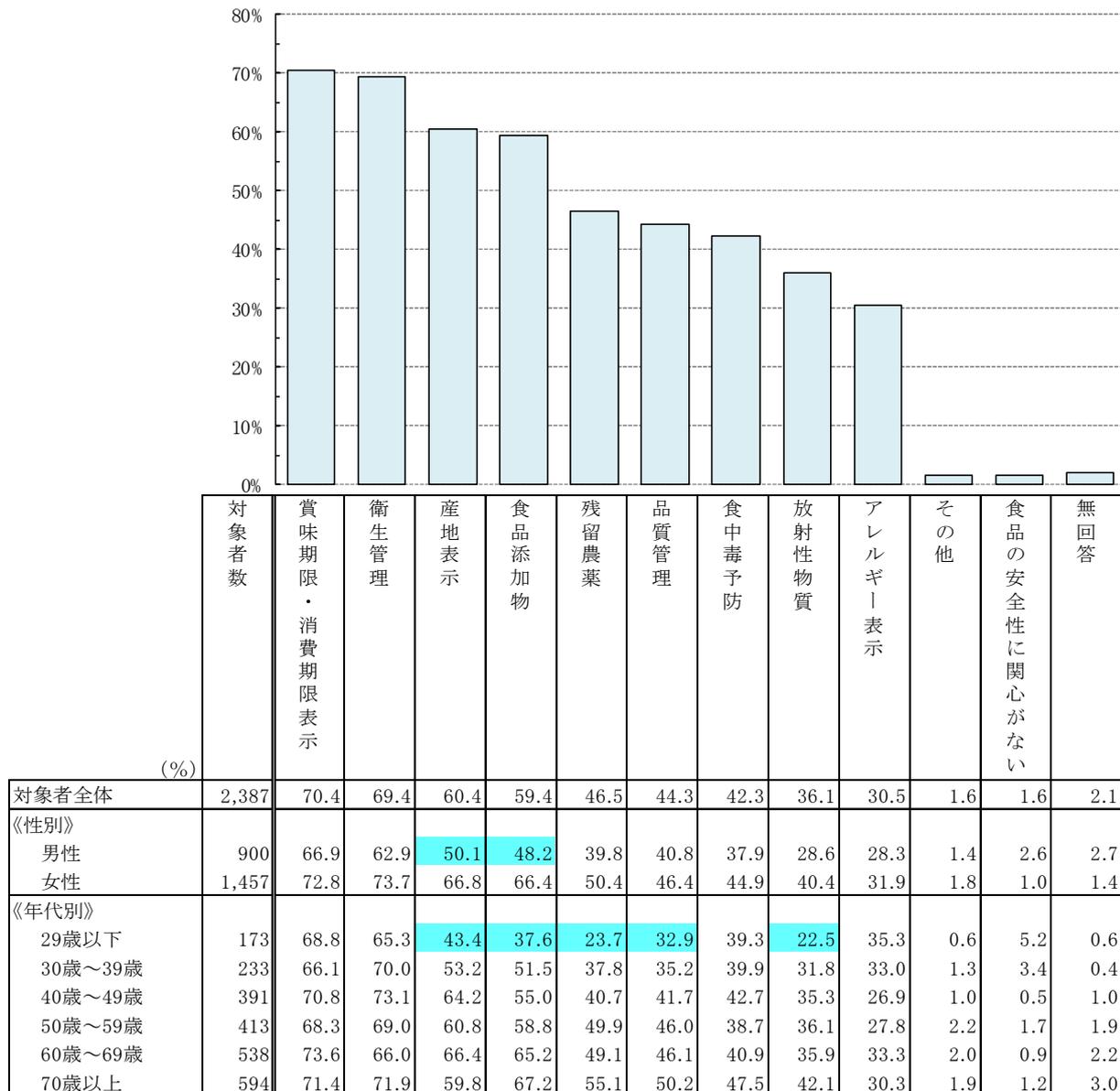
(1) 食の安全・安心について

食品の安全性で関心があること

【問1】 あなたが、食品の安全性で関心があることについて、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

食品の安全性のうち、「賞味期限・消費期限表示」に関心がある人は 70.4%

対象者全体(N=2,387)



対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】食品の安全性で関心があることは、「賞味期限・消費期限表示」が70.4%と最も高く、次いで「衛生管理」が69.4%、「産地表示」が60.4%となっている。一方で、「食品の安全性に関心がない」が1.6%となっている。

【性別】全ての項目の割合において、女性が男性より高くなっている。その中でも「産地表示」、「食品添加物」は、女性が男性より15.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】29歳以下と60歳代では「賞味期限・消費期限表示」が、30歳代、40歳代、50歳代、70歳以上では「衛生管理」が最も高くなっている。

食品の安全性に関する知識の有無

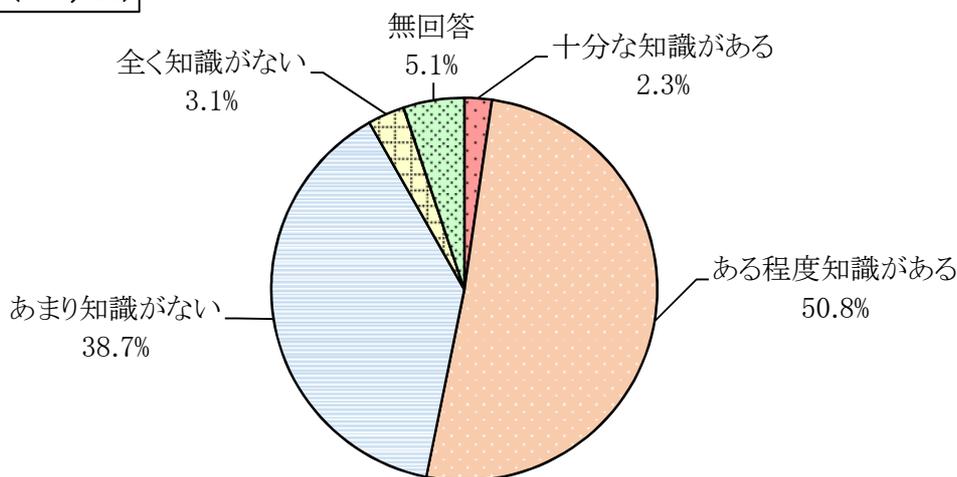
《問1で「1 衛生管理」から「10 その他」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。》

【問1-1】 あなたは、食品の安全性に関する知識があると思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものに1つだけ○をつけてください。

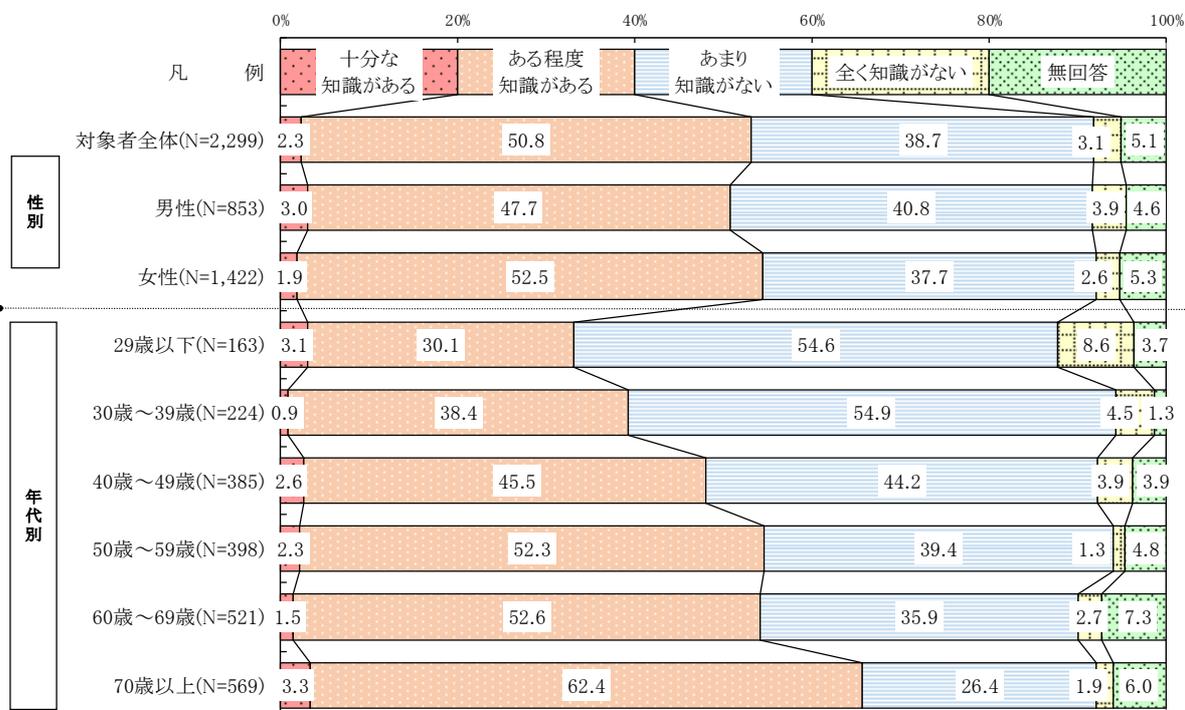
食品の安全性について“知識がある”と回答した人は 53.2%

※“知識がある”（「十分な知識がある」+「ある程度知識がある」）

対象者全体(N=2,299)



【対象者全体】食品の安全性について、「十分な知識がある」が 2.3%、「ある程度知識がある」が 50.8%、合わせると 53.2%となっている。一方で、「あまり知識がない」が 38.7%、「全く知識がない」が 3.1%、合わせると 41.8%となっている。



【性別】男女で大きな差は見られない。

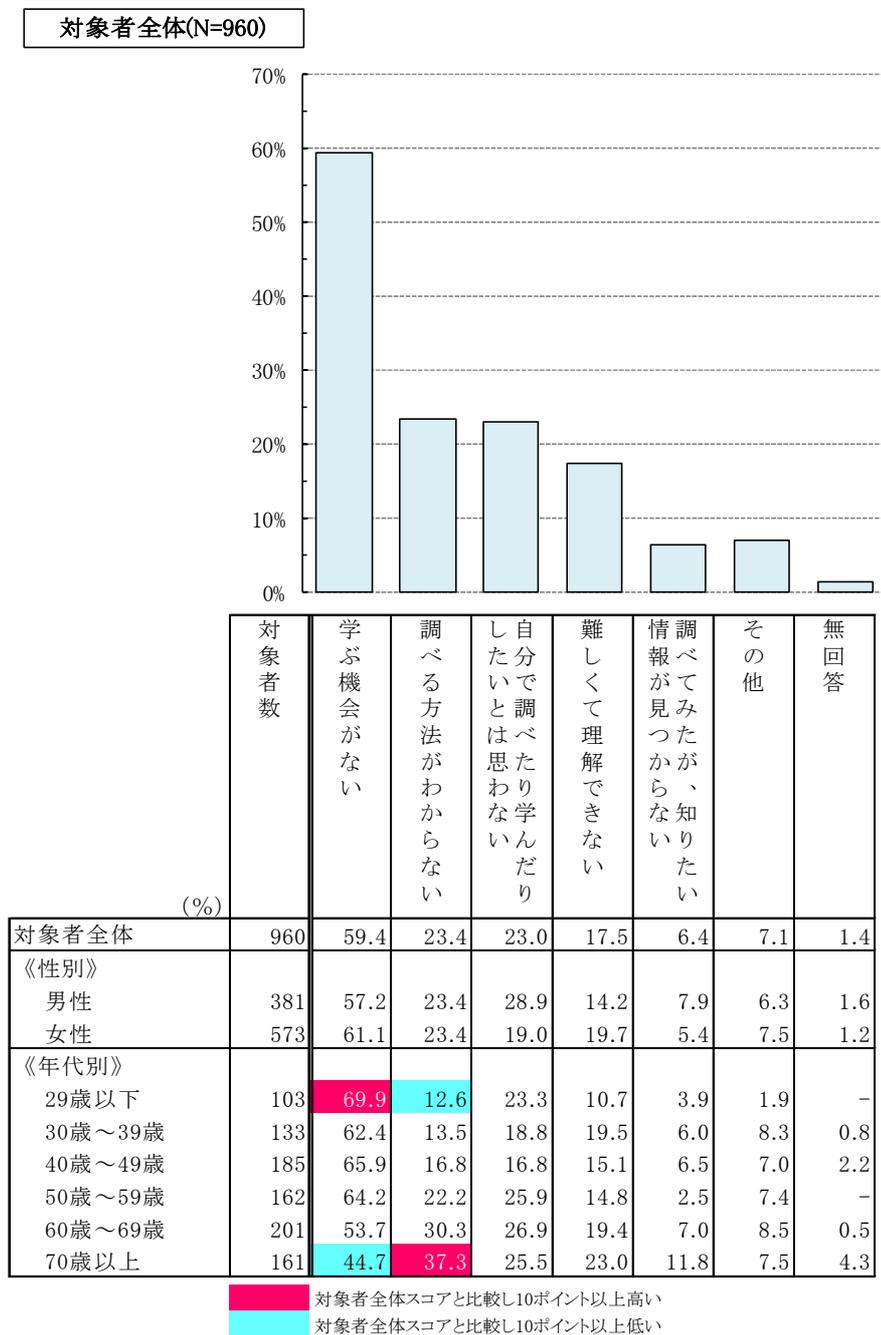
【年代別】“知識がある”が70歳以上(65.7%)で最も高く、次いで50歳代(54.5%)、60歳代(54.1%)となっている。

食品の安全性に関する知識がないと思う理由

《問1-1で「3 あまり知識がない」または「4 全く知識がない」と答えた方にお聞きします。》

【問1-2】 あなたが、食品の安全性に関する知識がないと思う理由について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

知識がないと思う理由は、「学ぶ機会がない」と回答した人が 59.4%



【対象者全体】食品の安全性に関する知識がないと思う理由は、「学ぶ機会がない」が 59.4%と最も高く、次いで「調べる方法がわからない」が 23.4%、「自分で調べたり学んだりしたいと思わない」が 23.0%となっている。

【性別】「自分で調べたり学んだりしたいと思わない」が男性で 28.9%と、女性の 19.0%より 9.9 ポイント高くなっている。また、「難しく理解できない」が女性で 19.7%と、男性の 14.2%より 5.5 ポイント高くなっている。

【年代別】「学ぶ機会がない」が 29 歳以下(69.9%)で最も高く、最も低い 70 歳以上(44.7%)と比べると 25.2 ポイントの差となっている。また、「調べる方法がわからない」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

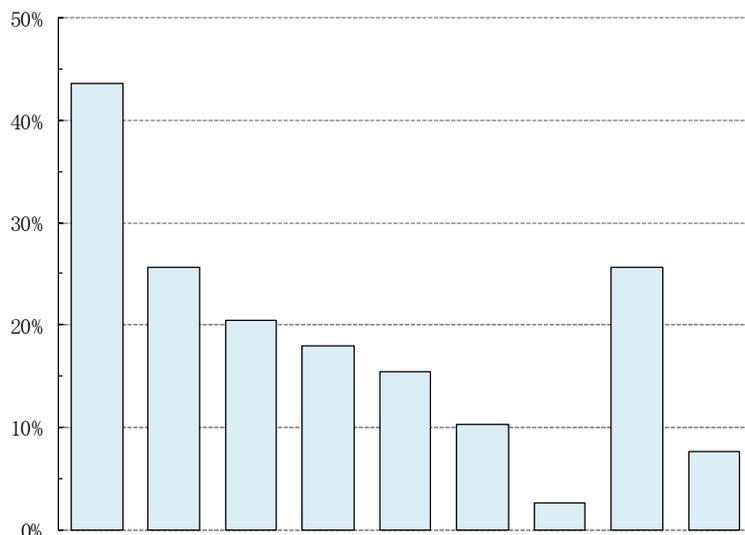
食品の安全性に関心がない理由

《問1-1で「11 食品の安全性に関心がない」と答えた方にお聞きします。》

【問1-3】 あなたが、食品の安全性に関心がない理由について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

関心がない理由は、「実生活で困ったことがないから」と回答した人が 43.6%

対象者全体(N=39)



対象者数	対象者数 (%)	実生活で困ったことがない	食中毒・食あたりなどの被害にあった経験がないから	おいしさや価格を優先するから	食品の生産者や製造者を信頼しているから	アレルギーなどの健康面での心配がないから	行政の安全性審査を信頼しているから	その他	特に理由はない	無回答
対象者全体	39	43.6	25.6	20.5	17.9	15.4	10.3	2.6	25.6	7.7
《性別》										
男性	23	34.8	21.7	17.4	26.1	13.0	13.0	4.3	30.4	4.3
女性	15	60.0	33.3	26.7	6.7	20.0	6.7	-	20.0	6.7
《年代別》										
29歳以下	9	62.5	50.0	50.0	25.0	62.5	25.0	-	-	-
30歳～39歳	8	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	12.5	12.5	12.5
40歳～49歳	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-
50歳～59歳	7	42.9	28.6	-	14.3	14.3	14.3	-	42.9	14.3
60歳～69歳	5	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0	-	60.0	-
70歳以上	7	42.9	14.3	14.3	14.3	-	-	-	28.6	-

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】食品の安全性に関心がない理由は、「実生活で困ったことがないから」が 43.6%と最も高く、次いで「食中毒・食あたりなどの被害にあった経験がないから」が 25.6%、「おいしさや価格を優先するから」が 20.5%となっている。

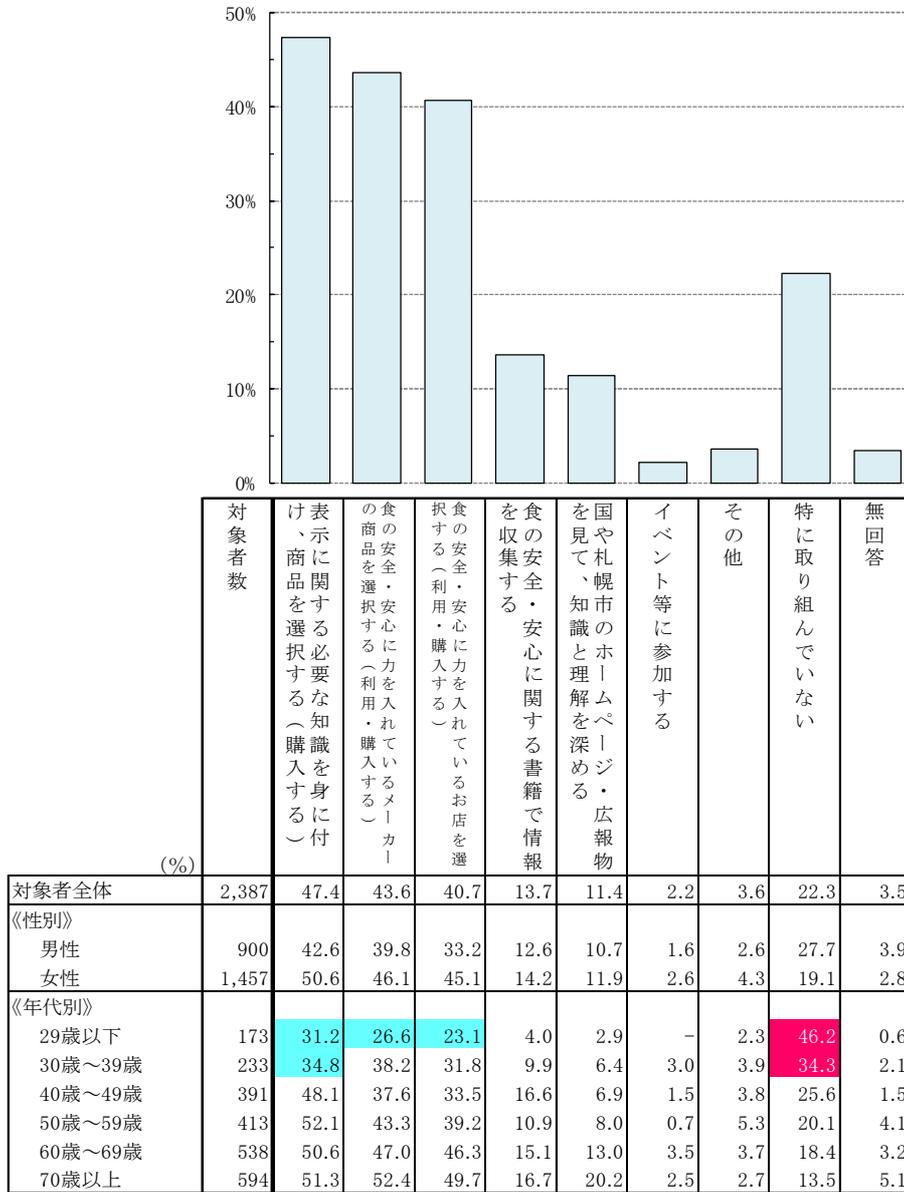
【性別】「実生活で困ったことがないから」が女性で 60.0%と、男性の 34.8%より 25.2 ポイント高くなっている。また、「食品の生産者や製造者を信頼しているから」が男性で 26.1%と、女性の 6.7%より 19.4 ポイント高くなっている。

食の安全・安心の確保のために取り組んでいること

【問2】 あなたが、食の安全・安心の確保のために取り組んでいることに、次の中からいくつでも○をつけてください。

食の安全・安心の確保のため、「表示に関する必要な知識を身につけ、商品を選択する(購入する)」人が47.4%

対象者全体(N=2,387)



対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い
対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】食の安全・安心の確保のために取り組んでいることは、「表示に関する必要な知識を身につけ、商品を選択する」が47.4%と最も高く、次いで「食の安全・安心に力を入れているメーカーの商品を選択する」が43.6%、「食の安全・安心に力を入れているお店を選択する」が40.7%となっている。

【性別】取り組んでいることに関しては、どの項目においても、女性が男性より割合が高くなっている。その中でも「表示に関する必要な知識を身につけ、商品を選択する」、「食の安全・安心に力を入れているメーカーの商品を選択する」、「食の安全・安心に力を入れているお店を選択する」は、女性が男性より5.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】「食の安全・安心に力を入れているお店を選択する」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

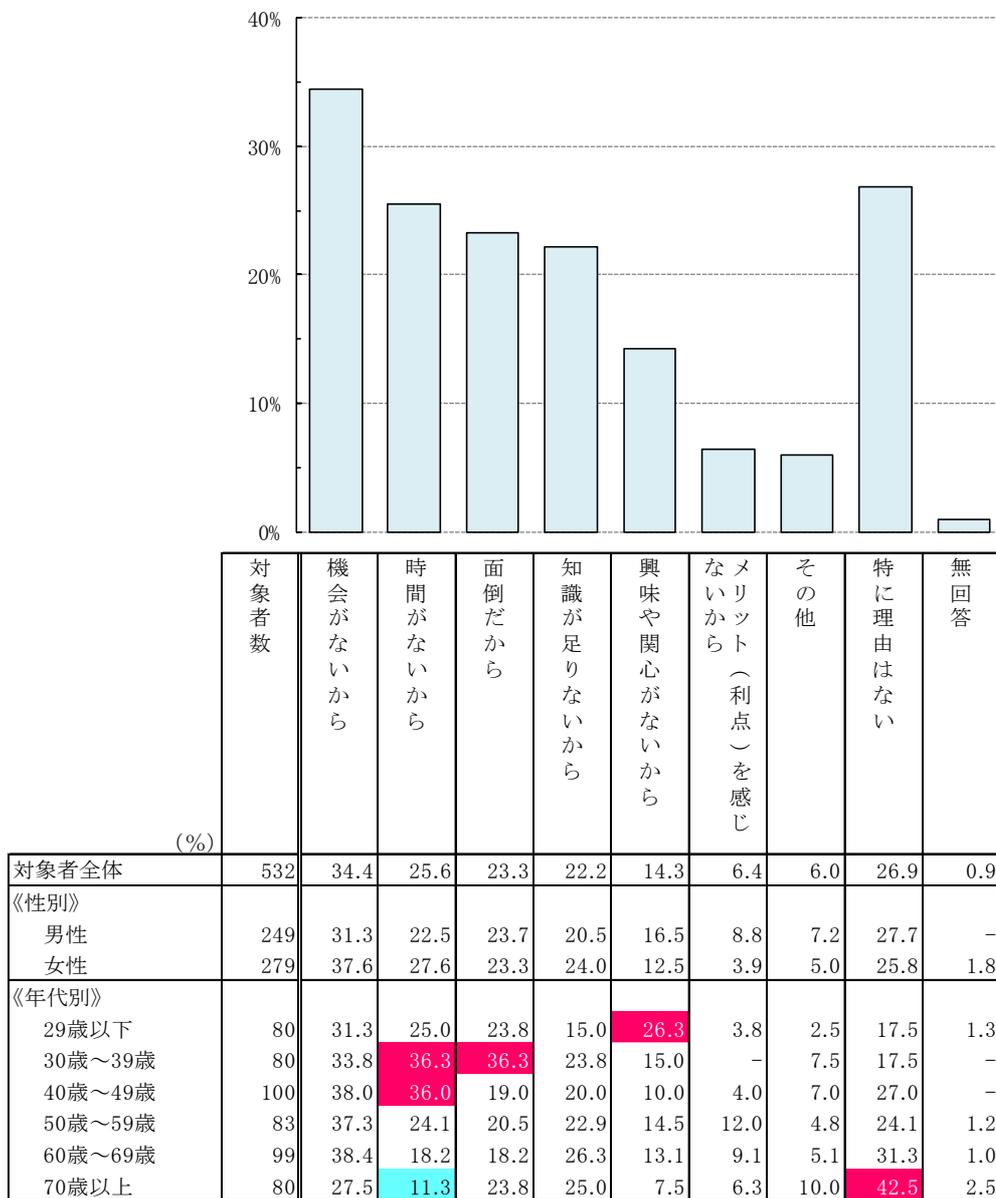
食の安全・安心の確保のための取り組みを行っていない理由

《問2で「8 特に取り組んでいない」と答えた方にお聞きします。》

【問2-1】 あなたが、食の安全・安心のための取り組みを行っていない理由について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

取り組みを行っていない理由は、「機会がないから」と回答した人が 34.4%

対象者全体(N=532)



対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い
対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】食の安全・安心の確保のための取り組みを行っていない理由は、「機会がないから」が 34.4%と最も高く、次いで「時間がないから」が 25.6%、「面倒だから」が 23.3%となっている。

【性別】「機会がないから」、「時間がないから」は女性が男性より 5.0 ポイント以上高くなっている。

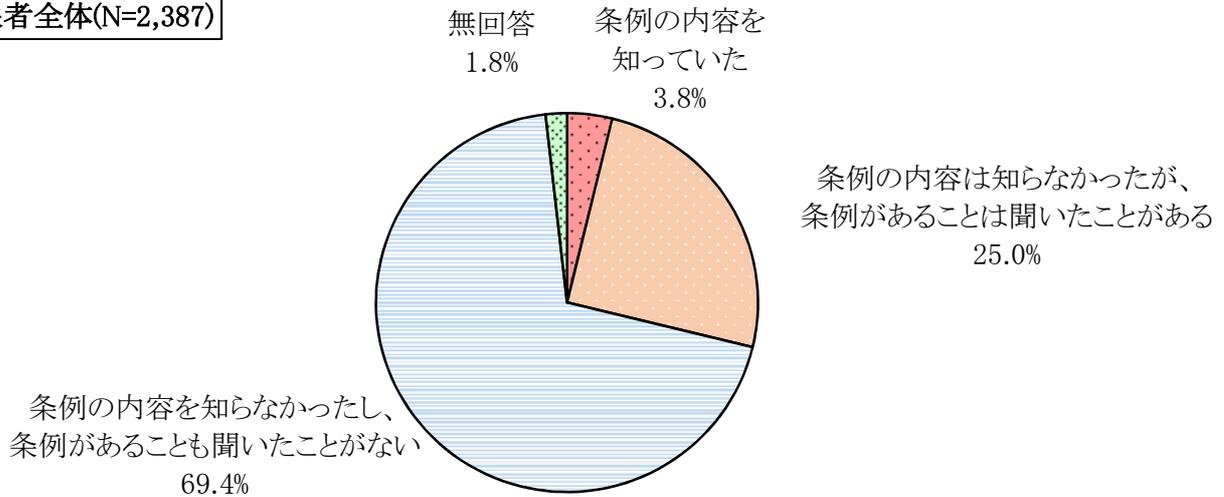
【年代別】「面倒だから」が 30 歳代(36.3%)で最も高く、最も低い 60 歳代(18.2%)と比べると 18.1 ポイントの差となっている。

札幌市安全・安心な食のまち推進条例の認知度

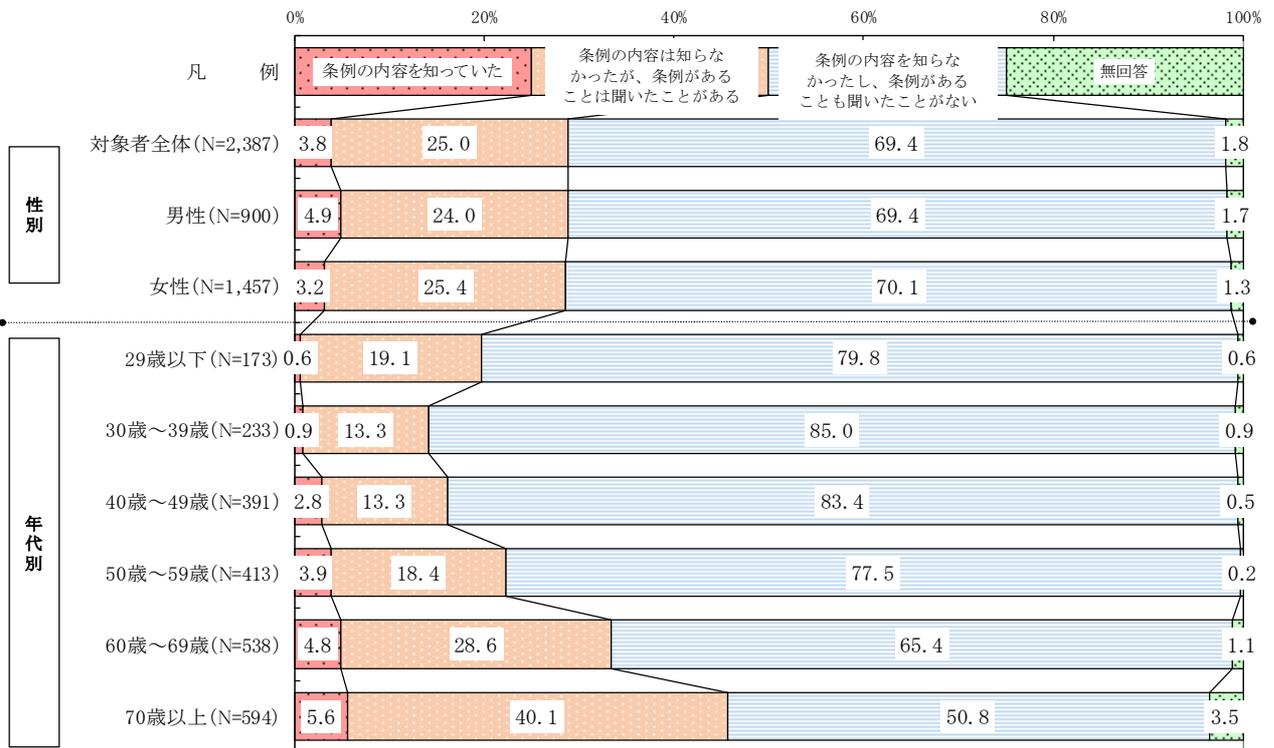
【問3】 あなたは、「札幌市安全・安心な食のまち推進条例」を知っていましたか。

札幌市安全・安心な食のまち推進条例について、「条例の内容を知っていた」人は 3.8%

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】札幌市安全・安心な食のまち推進条例について、「条例の内容を知っていた」は 3.8%、「条例の内容は知らなかったが、条例があることは聞いたことがある」が 25.0%となっている。一方で、「条例の内容を知らなかったし、条例があることも聞いたことがない」が 69.4%となっている。



【性別】男女で大きな差は見られない。

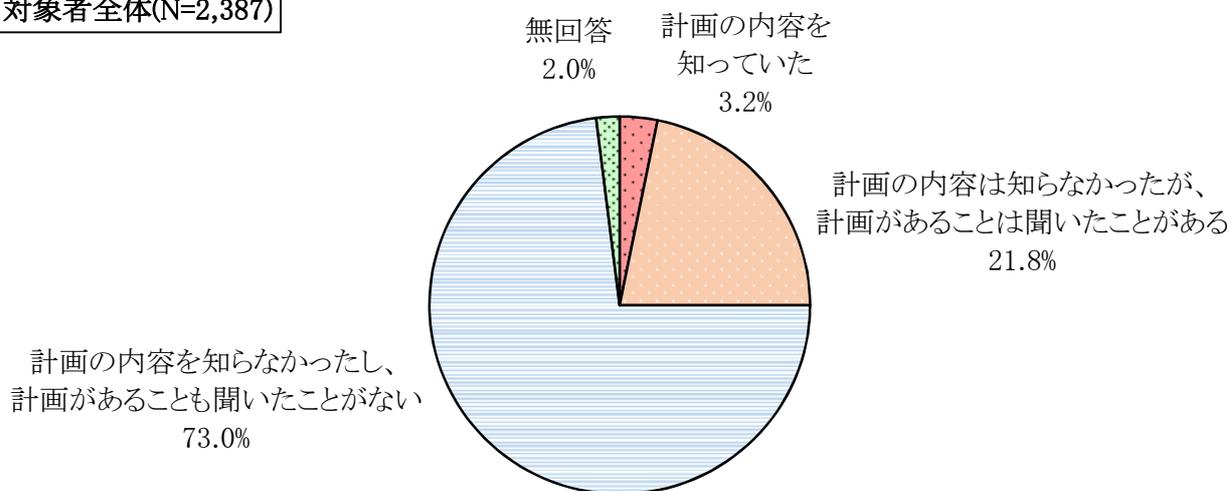
【年代別】「条例の内容を知っていた」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画の認知度

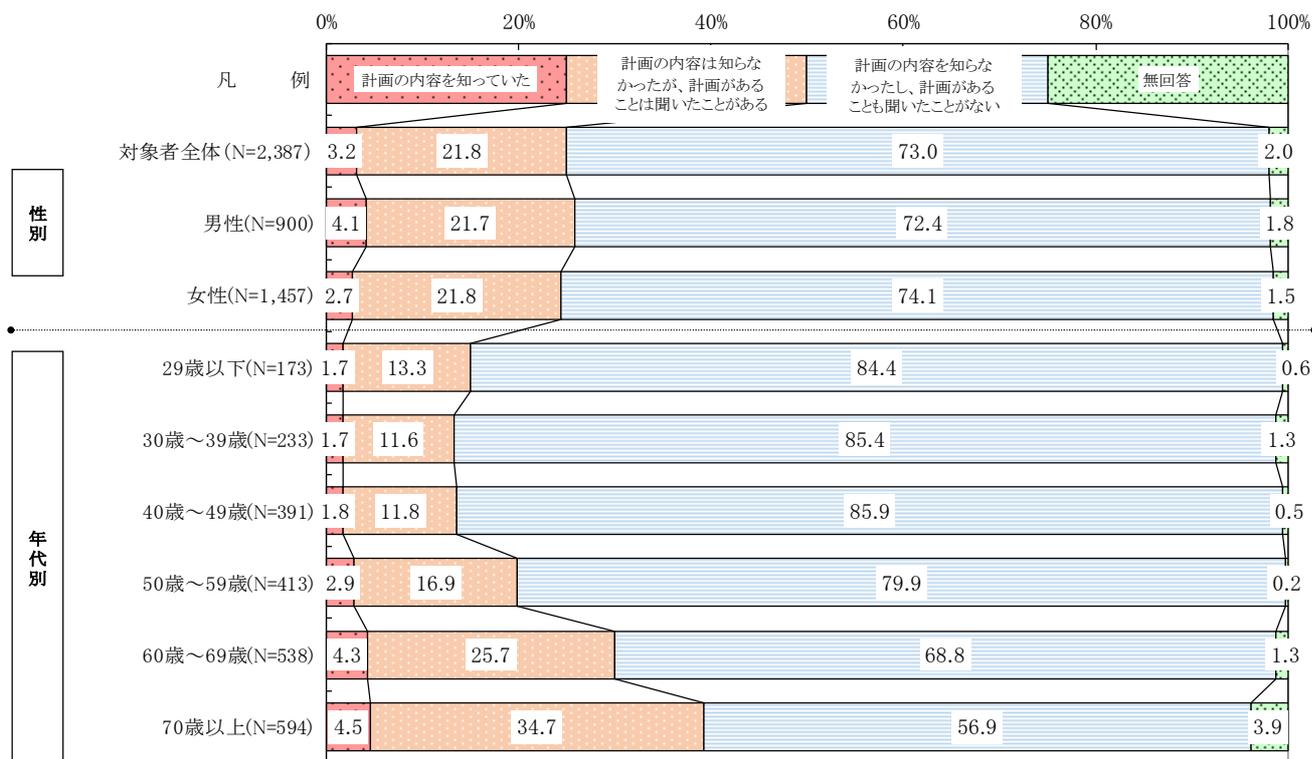
【問4】 あなたは、「安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画」を知っていましたか。

安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画について、「計画の内容を知っていた」人は 3.2%

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画について、「計画の内容を知っていた」が 3.2%、「計画の内容は知らなかったが、計画があることは聞いたことがある」が 21.8%となっている。一方で、「計画の内容を知らなかったし、計画があることも聞いたことがない」が 73.0%となっている。



【性別】男女で大きな差は見られない。

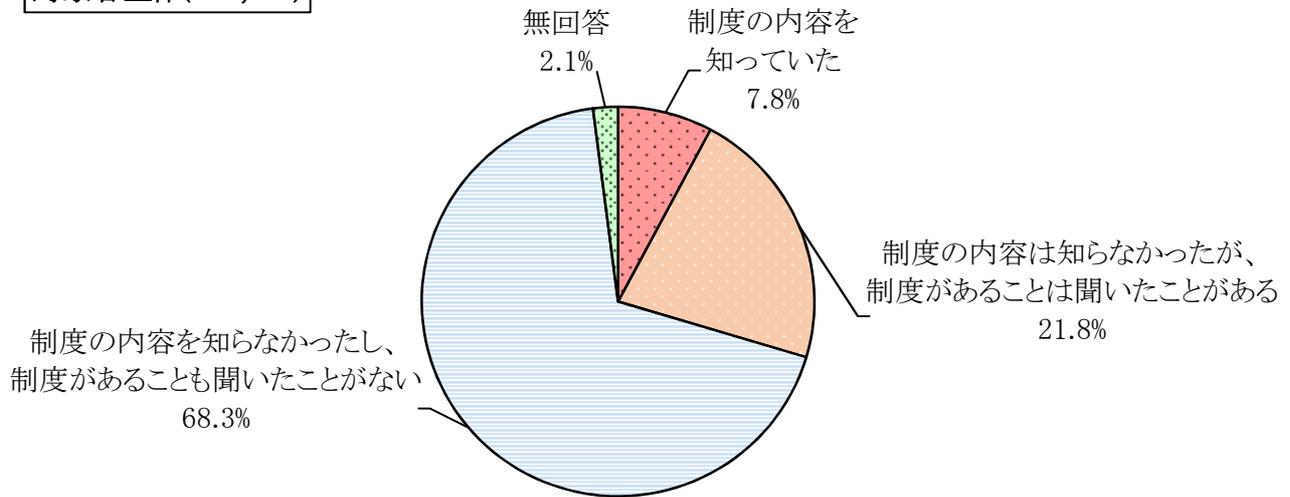
【年代別】「計画の内容を知っていた」が 70 歳以上(4.5%)で最も高く、次いで 60 歳代(4.3%)、50 歳代(2.9%)となっている。

食品等の自主回収報告制度の認知度

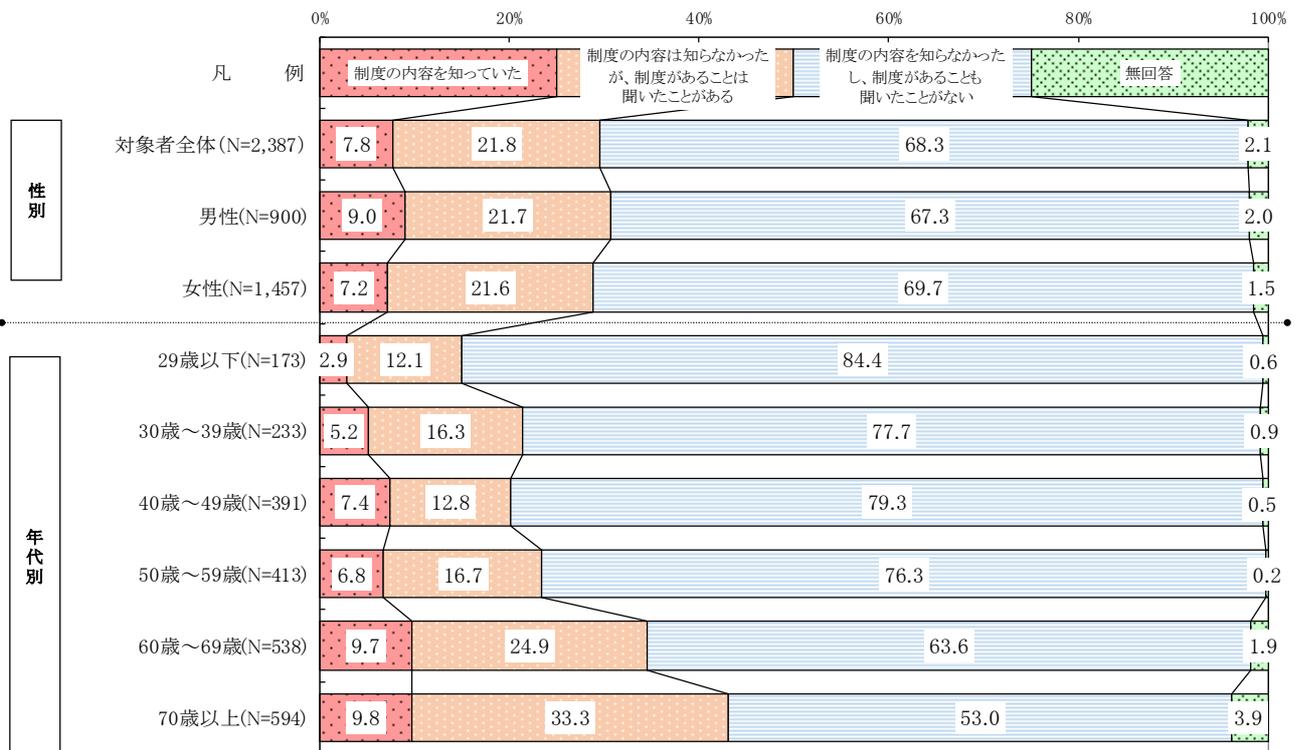
【問5】 あなたは、「食品等の自主回収報告制度」を知っていましたか。

食品等の自主回収報告制度について、「制度の内容を知っていた」人は 7.8%

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】食品等の自主回収報告制度について、「制度の内容を知っていた」が 7.8%、「制度の内容は知らなかったが、制度があることは聞いたことがある」が 21.8%となっている。一方で、「制度の内容を知らなかったし、制度があることも聞いたことがない」が 68.3%となっている。



【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「制度の内容を知っていた」が 70 歳以上(9.8%)で最も高く、次いで 60 歳代(9.7%)、40 歳代(7.4%)となっている。

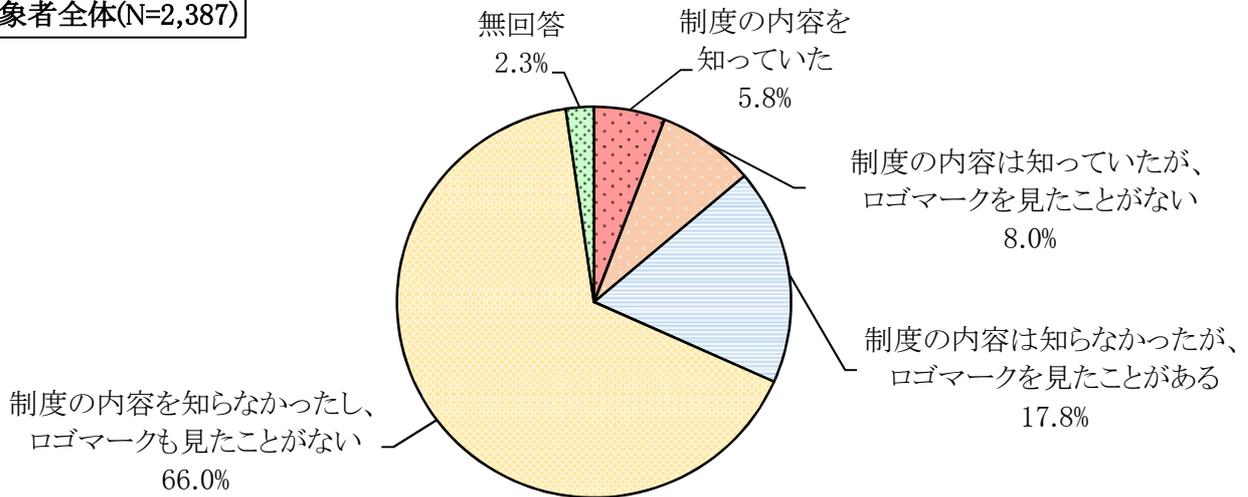
札幌市食品衛生管理認証制度(さっぽろHACCP)の認知度

【問6】 あなたは、「札幌市食品衛生管理認証制度(さっぽろHACCP)」を知っていましたか。

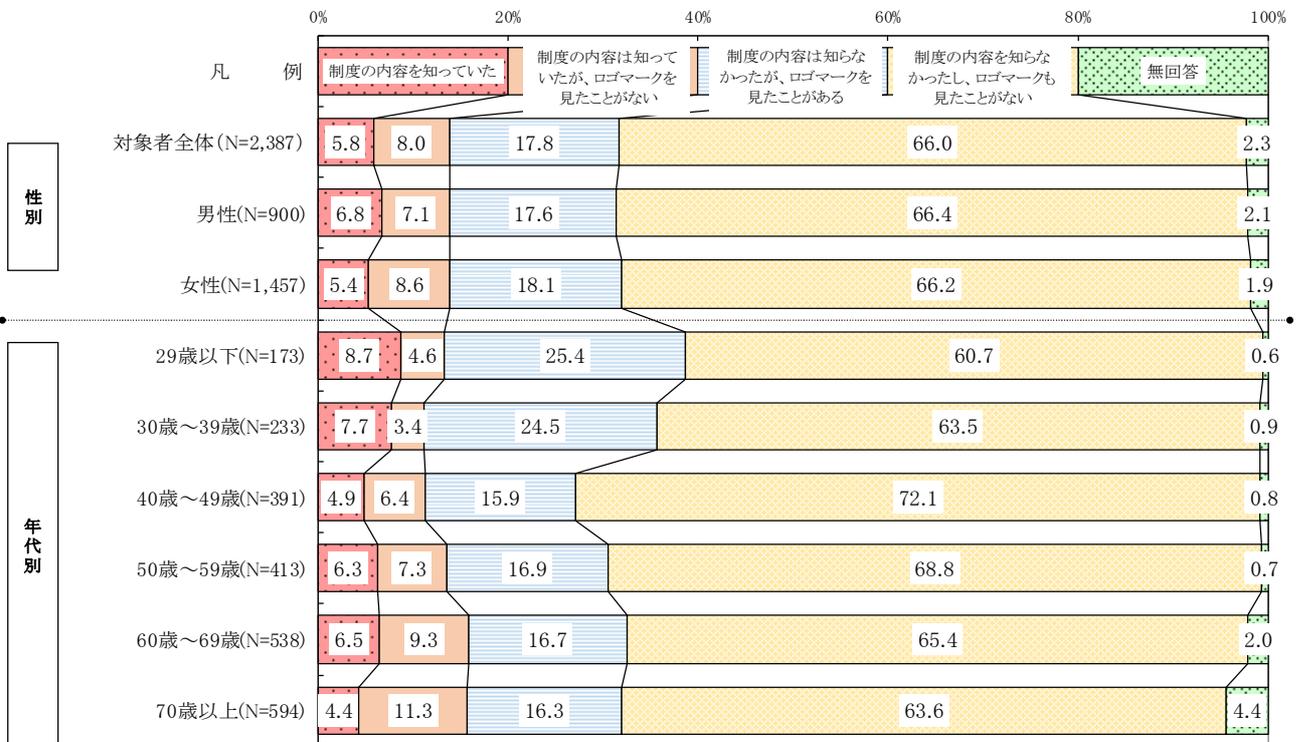
札幌市食品衛生管理認証制度(さっぽろHACCP)について、“制度の内容を知っていた”人は13.8%

※“制度の内容を知っていた”(「制度の内容を知っていた」+「制度の内容は知っていたが、ロゴマークを見たことがない」)

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】札幌市食品衛生管理認証制度(さっぽろHACCP)について、「制度の内容を知っていた」が 5.8%、「制度の内容は知っていたが、ロゴマークを見たことがない」が 8.0%となっている。一方で、「制度の内容は知らなかったが、ロゴマークを見たことがある」が 17.8%、「制度の内容を知らなかったし、ロゴマークも見なかった」が 66.0%となっている。



【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】“制度の内容を知っていた”が 60 歳代(15.8%)で最も高く、次いで 70 歳以上(15.7%)、50 歳代(13.6%)となっている

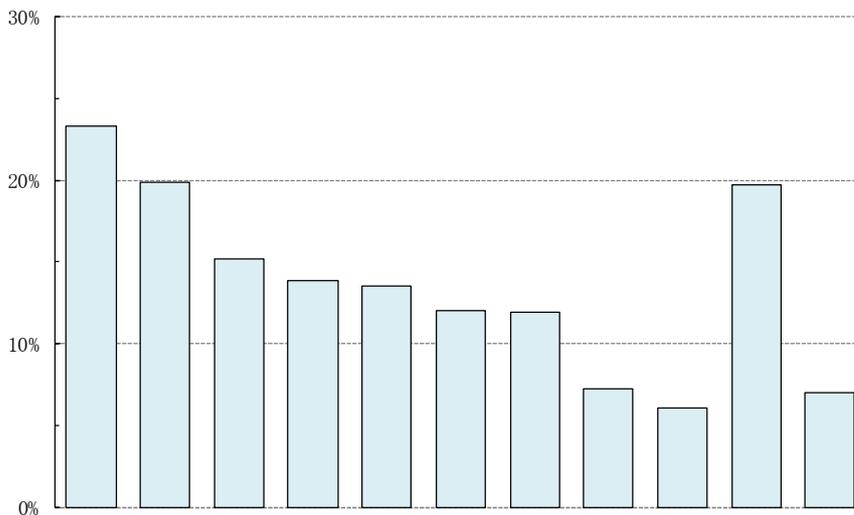
札幌市食品衛生管理認証制度(さっぽろHACCP)の内容を知った・ロゴマークを見た場所や方法

《問6で「1 制度の内容を知っていた」「2 制度の内容は知っていたが、ロゴマークを見たことがない」「3 制度の内容は知らなかったが、ロゴマークを見たことがある」と答えた方にお聞きします。》

【問6-1】 あなたが、制度を知った又はロゴマークを見た場所や方法について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌市食品衛生管理認証制度(さっぽろHACCP)の内容を知った・ロゴマークを見た場所や方法として、「市が発行するパンフレット」と回答した人が23.3%

対象者全体(N=756)



(%)	対象者数	市が発行するパンフレット	食品関連施設	情報誌(ポロコなど)	札幌市ホームページ	さっぽろオータムフェスト	札幌駅前通地下広場(チカホ)	地下鉄電照広告	食品事業者ホームページ	その他	覚えていない	無回答
対象者全体	756	23.3	19.8	15.2	13.9	13.5	12.0	11.9	7.3	6.1	19.7	7.0
《性別》												
男性	283	24.0	21.2	13.1	16.3	12.0	8.8	10.6	11.3	6.7	18.7	5.3
女性	466	22.7	19.3	16.7	12.0	14.6	13.9	12.4	4.7	5.8	20.2	8.2
《年代別》												
29歳以下	67	6.0	16.4	6.0	11.9	17.9	20.9	22.4	1.5	9.0	28.4	4.5
30歳~39歳	83	9.6	21.7	22.9	7.2	22.9	15.7	18.1	6.0	6.0	16.9	4.8
40歳~49歳	106	14.2	22.6	13.2	13.2	12.3	10.4	7.5	8.5	6.6	34.0	2.8
50歳~59歳	126	15.9	23.8	18.3	7.1	19.0	9.5	15.1	11.1	7.1	19.8	4.0
60歳~69歳	175	38.9	25.1	20.6	12.6	10.3	12.6	9.7	9.1	6.9	13.1	5.7
70歳以上	190	31.1	12.1	10.0	22.6	7.9	10.0	7.9	4.2	3.7	15.8	14.7

■ 対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い
■ 対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】札幌市食品衛生管理認証制度(さっぽろHACCP)の内容を知った・ロゴマークを見た場所や方法は、「市が発行するパンフレット」が23.3%と最も高く、次いで「食品関連施設」が19.8%、「情報誌(ポロコなど)」が15.2%となっている。

【性別】「札幌駅前通地下広場(チカホ)」が女性で13.9%と、男性の8.8%より5.1ポイント高くなっている。また、「食品事業者ホームページ」が男性で11.3%と、女性の4.7%より6.6ポイント高くなっている。

【年代別】「市が発行するパンフレット」が60歳代(38.9%)と最も高く、最も低い29歳以下(6.0%)と比べると32.9ポイントの差となっている。

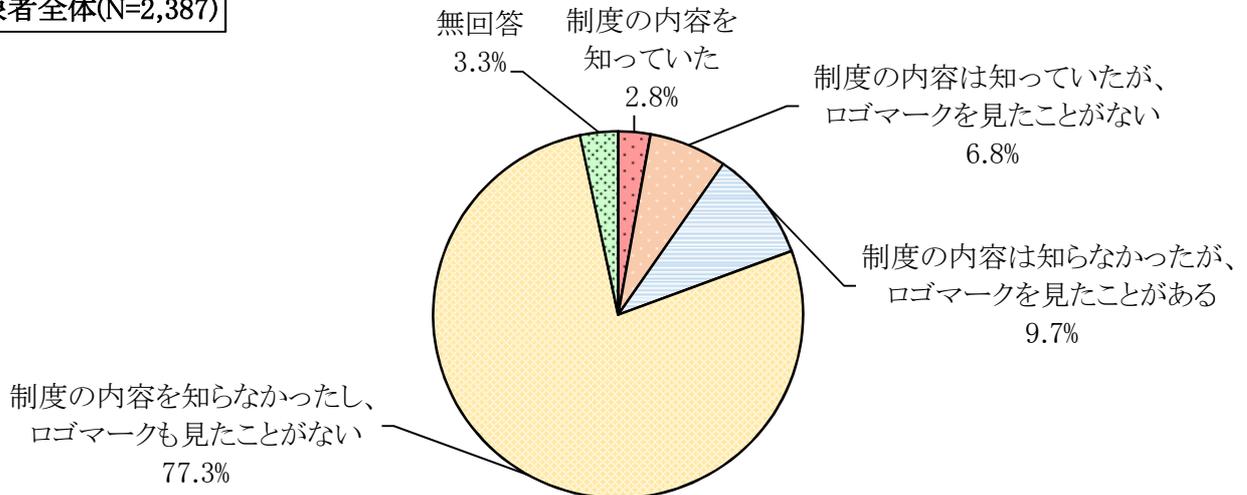
さっぽろ食の安全・安心推進協定の認知度

【問7】 あなたは、「さっぽろ食の安全・安心推進協定」を知っていましたか。

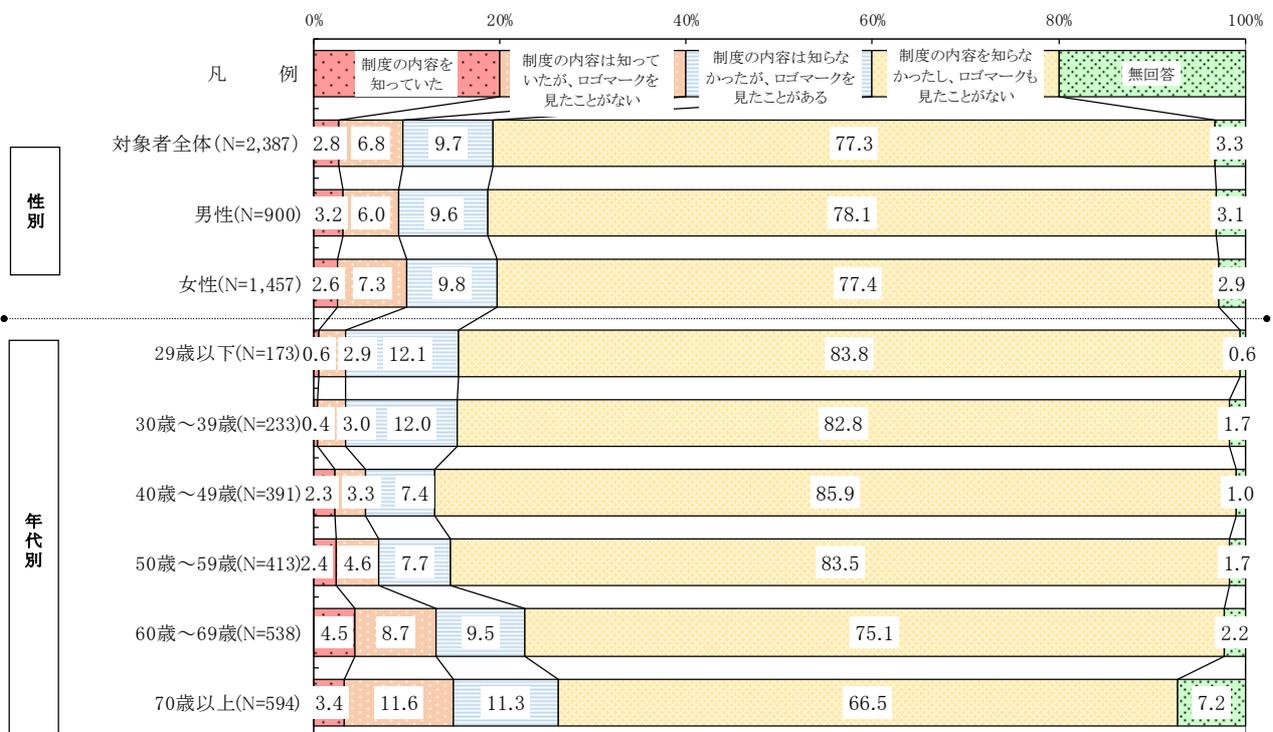
さっぽろ食の安全・安心推進協定について、“制度の内容を知っていた”人は9.6%

※“制度の内容を知っていた”（「制度の内容を知っていた」+「制度の内容は知っていたが、ロゴマークを見たことがない」）

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】さっぽろ食の安全・安心推進協定について、「制度の内容を知っていた」が 2.8%、「制度の内容は知っていたが、ロゴマークを見たことがない」が 6.8%となっている。一方で、「制度の内容は知らなかったが、ロゴマークを見たことがある」が 9.7%、「制度の内容を知らなかったし、ロゴマークも見なかった」が 77.3%となっている。



【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】“制度の内容を知っていた”が 70 歳以上(15.0%)で最も高く、次いで 60 歳代(13.2%)、50 歳代(7.0%)となっている。

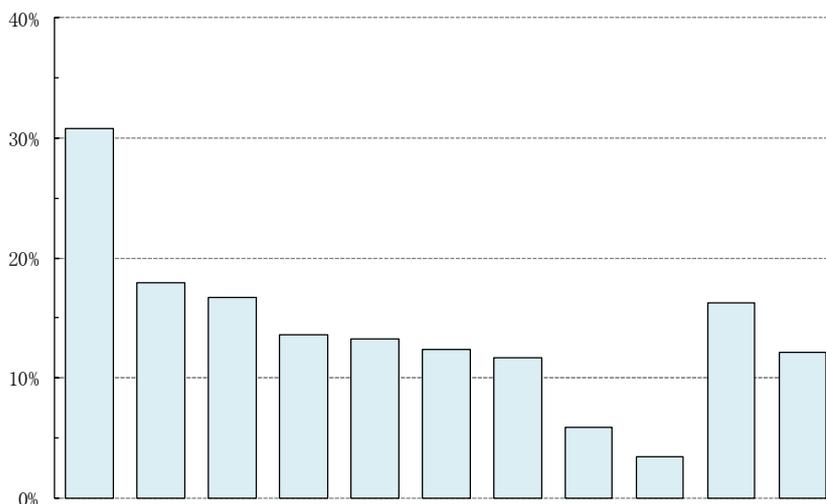
さっぽろ食の安全・安心推進協定の内容を知った・ロゴマークを見た場所や方法

《問7で「1 制度の内容を知っていた」「2 制度の内容は知っていたが、ロゴマークを見たことがない」「3 制度の内容は知らなかったが、ロゴマークを見たことがある」と答えた方にお聞きします。》

【問7-1】 あなたが、制度を知った又はロゴマークを見た場所や方法について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

さっぽろ食の安全・安心推進協定の内容を知った・ロゴマークを見た場所や方法として、「市が発行するパンフレット」と回答した人が 30.7%

対象者全体(N=462)



対象者数	市が発行するパンフレット	札幌市ホームページ	食品関連施設	情報誌 (ポロコなど)	札幌駅前通地下広場 (チカホ)	さっぽろオータムフェスト	地下鉄電照広告	食品事業者ホームページ	その他	覚えていない	無回答
対象者全体 (N=462)	30.7	18.0	16.7	13.6	13.2	12.3	11.7	5.8	3.5	16.2	12.1
《性別》											
男性 (N=169)	32.5	20.1	21.3	13.0	10.7	13.6	10.1	9.5	3.6	13.6	10.7
女性 (N=288)	29.5	16.3	14.2	14.2	14.6	11.8	12.5	3.8	3.5	17.0	13.2
《年代別》											
29歳以下 (N=27)	7.4	11.1	18.5	3.7	18.5	14.8	18.5	3.7	-	33.3	7.4
30歳～39歳 (N=36)	8.3	11.1	25.0	19.4	13.9	25.0	11.1	2.8	2.8	22.2	5.6
40歳～49歳 (N=51)	9.8	17.6	15.7	13.7	13.7	15.7	9.8	7.8	5.9	29.4	5.9
50歳～59歳 (N=61)	27.9	11.5	21.3	13.1	16.4	16.4	24.6	8.2	1.6	14.8	3.3
60歳～69歳 (N=122)	45.1	23.8	20.5	17.2	13.9	12.3	9.8	8.2	5.7	9.8	9.0
70歳以上 (N=156)	37.2	19.2	10.9	12.2	10.3	6.4	8.3	3.8	2.6	11.5	22.4

■ 対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】さっぽろ食の安全・安心推進協定の内容を知った・ロゴマークを見た場所や方法について、「市が発行するパンフレット」が 30.7%と最も高く、次いで「札幌市ホームページ」が 18.0%、「食品関連施設」が 16.7%となっている。

【性別】「食品関連施設」が男性で 21.3%と、女性の 14.2%より 7.1 ポイント高くなっている。

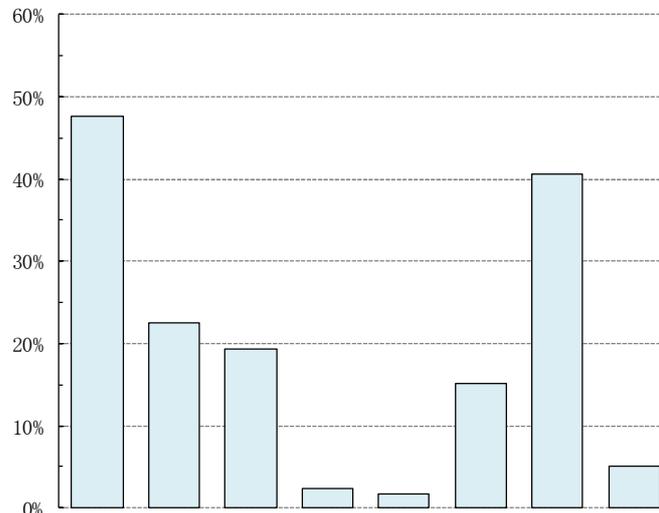
【年代別】「市が発行するパンフレット」が 60 歳代 (45.1%) で最も高く、最も低い 29 歳以下 (7.4%) と比べると 37.7 ポイントの差となっている。

ロゴマークを貼っている商品や店舗に対する印象

【問8】 あなたが、これらのロゴマークを貼っている商品や店舗に対して持つ印象として、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

ロゴマークを貼っている商品や店舗に、「安全性について信頼できる」という印象を持っている人は47.6%

対象者全体(N=2,387)



対象者数	安全性について信頼できる	優先的に利用・購入したい	厳正な安全性審査を通過している	おいしそう	その他	特に印象がない	ロゴマークを見たことがない	無回答	
(%)									
対象者全体	2,387	47.6	22.5	19.3	2.3	1.8	15.2	40.6	5.1
《性別》									
男性	900	44.3	21.1	18.2	2.4	1.3	18.3	42.8	4.0
女性	1,457	49.9	23.7	20.1	2.3	2.1	13.2	39.5	5.1
《年代別》									
29歳以下	173	45.7	13.3	21.4	4.6	0.6	16.8	31.8	2.3
30歳～39歳	233	45.1	14.6	17.6	3.4	2.6	20.2	35.6	4.3
40歳～49歳	391	47.8	18.7	19.7	3.6	1.8	16.4	38.9	1.8
50歳～59歳	413	48.2	22.0	17.4	2.2	2.4	17.2	42.9	2.4
60歳～69歳	538	48.9	23.2	21.7	1.1	1.9	13.2	45.2	4.6
70歳以上	594	48.5	31.8	18.9	1.9	1.2	12.1	40.4	8.9

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い
対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】ロゴマークを貼っている商品や店舗に対する印象は、「安全性について信頼できる」が47.6%と最も高く、次いで「優先的に利用・購入したい」が22.5%、「厳正な安全性審査を通過している」が19.3%となっている。

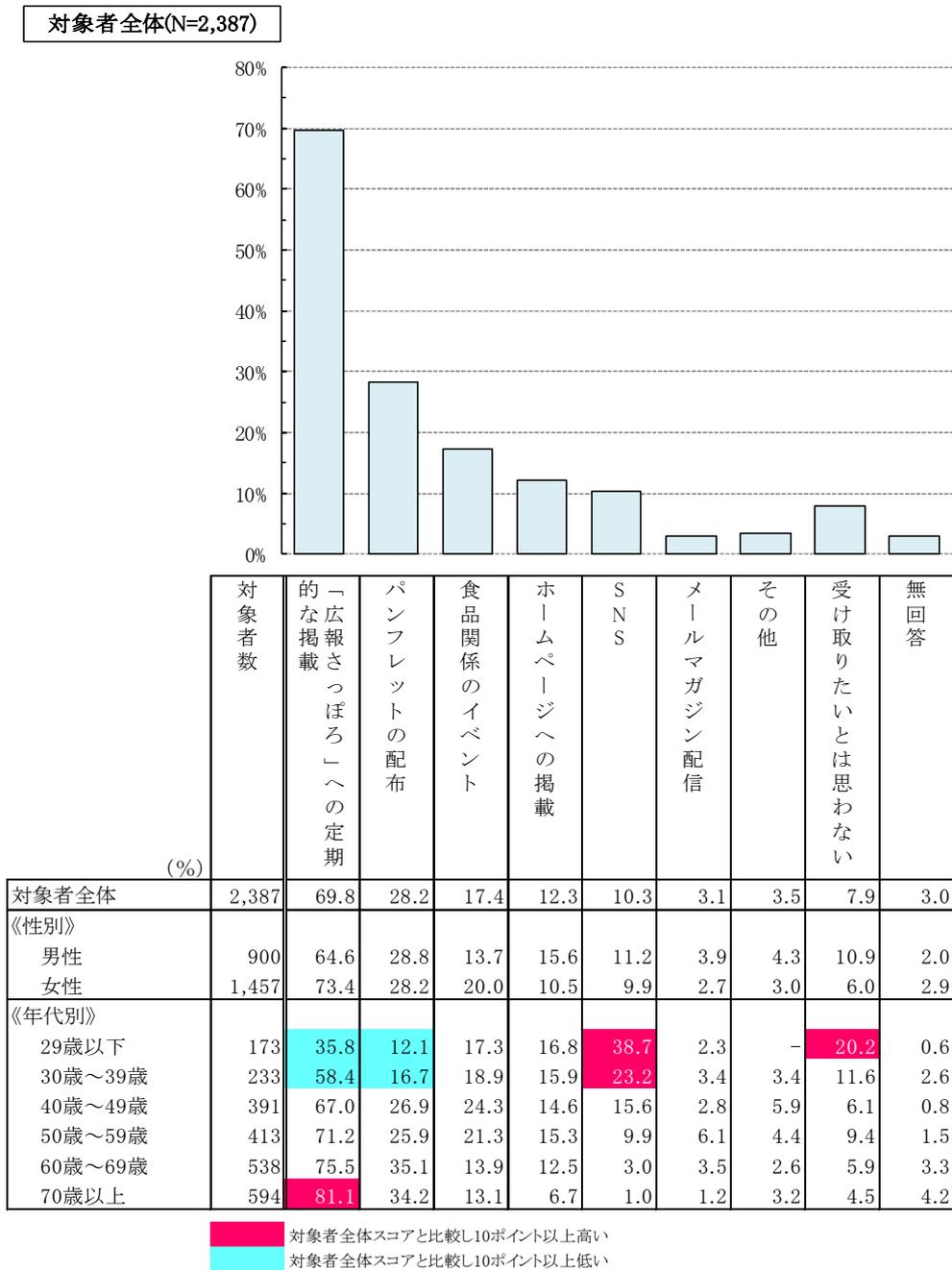
【性別】「安全性について信頼できる」が女性で49.9%と、男性の44.3%より5.6ポイント高くなっている。

【年代別】「安全性について信頼できる」が60歳代(48.9%)で最も高く、次いで70歳以上(48.5%)、50歳代(48.2%)となっている。

食品の安全性や札幌市の取り組みに関する情報を受け取りたい方法

【問9】 食品の安全性や札幌市の取り組みに関する情報について、あなたが受け取りたいと思う方法に、次の中からいくつでも○をつけてください。

食品の安全性や札幌市の取り組みに関する情報を受け取りたい方法として、「「広報さっぽろ」への定期的な掲載」と回答した人が 69.8%



【対象者全体】食品の安全性や札幌市の取り組みに関する情報を受け取りたい方法は、「「広報さっぽろ」への定期的な掲載」が 69.8%と最も高く、次いで「パンフレットの配布」が 28.2%、「食品関係のイベント」が 17.4%となっている。

【性別】「「広報さっぽろ」への定期的な掲載」、「食品関係のイベント」は女性が男性より 5.0 ポイント以上高くなっている。また、「ホームページの掲載」は男性で 15.6%と、女性の 10.5%より 5.1 ポイント高くなっている。

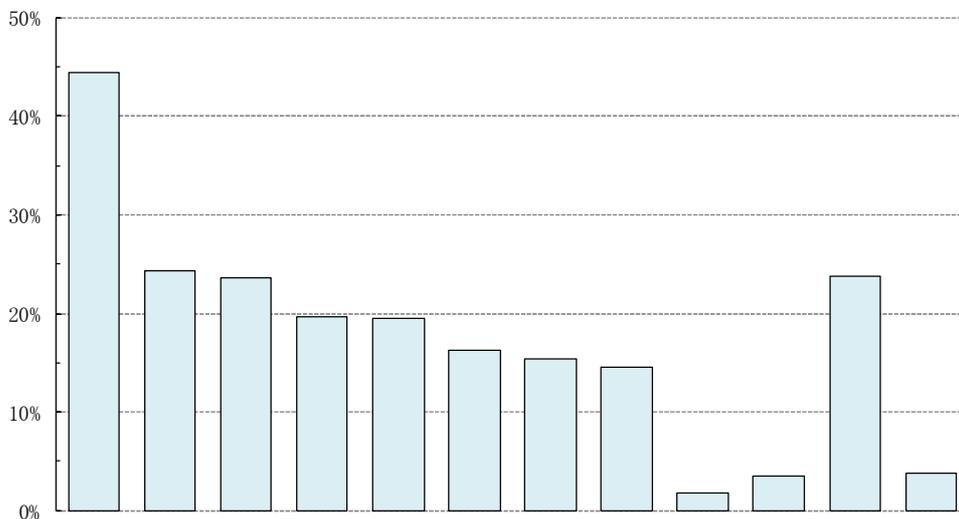
【年代別】「「広報さっぽろ」への定期的な掲載」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また 29 歳以下では「SNS」、30 歳以上では「「広報さっぽろ」への定期的な掲載」が最も高くなっている。

札幌市が行う取り組みで不足していると思うもの

【問10】 食の安全・安心の確保のために札幌市が行う取り組みについて、次の中から、あなたが不足していると思うものにいくつでも○をつけてください。

札幌市が行う取り組みについて、「わかりやすい情報の提供」が不足していると思っている人が44.4%

対象者全体(N=2,387)



対象者数 (%)	わかりやすい情報の提供	製造所などでの衛生指導	食品の抜き取り検査	事業者の自主的な衛生管理の推進	法令違反への厳しい対応	食中毒対策	表示の監視	消費者・事業者、行政間の情報・意見交換	その他	不足していることはない	わからない	無回答	
対象者全体	2,387	44.4	24.3	23.5	19.6	19.5	16.2	15.4	14.5	1.8	3.5	23.8	3.8
《性別》													
男性	900	41.4	21.7	21.9	17.0	21.7	15.8	14.8	15.3	1.4	4.6	25.6	3.2
女性	1,457	46.4	26.0	24.6	21.2	18.2	16.3	15.7	14.0	2.0	2.9	23.0	3.6
《年代別》													
29歳以下	173	39.9	17.3	12.7	12.7	13.3	12.1	5.8	14.5	2.3	5.8	35.8	0.6
30歳～39歳	233	45.9	15.5	17.2	9.0	17.6	10.3	9.0	12.9	2.1	3.9	27.9	2.1
40歳～49歳	391	50.9	18.7	18.4	16.4	14.8	13.0	12.3	14.6	3.3	3.8	25.1	1.8
50歳～59歳	413	43.6	18.6	20.1	15.3	15.7	10.4	12.8	11.4	2.4	5.8	27.8	1.9
60歳～69歳	538	46.1	28.8	28.3	24.7	23.6	17.5	18.8	16.2	0.7	2.2	20.4	4.5
70歳以上	594	40.7	33.8	30.8	26.6	24.2	24.6	21.5	16.2	1.0	2.2	18.5	5.9

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い
 対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

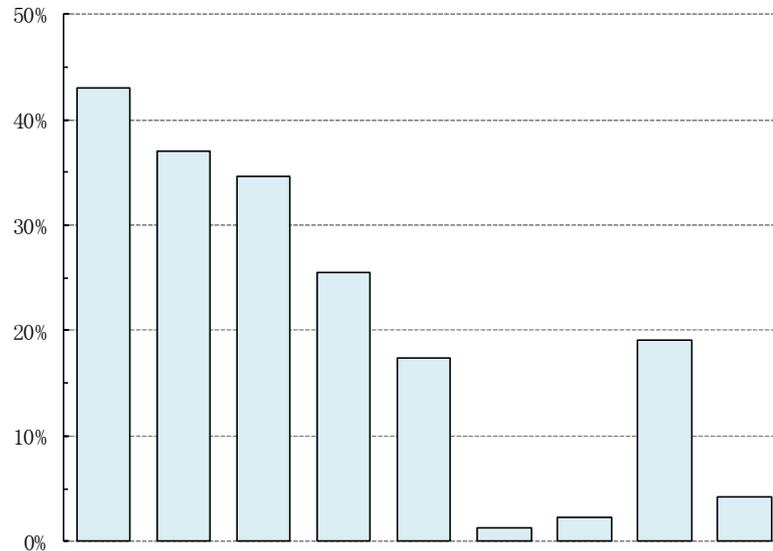
【対象者全体】札幌市が行う取り組みで不足していると思うものは、「わかりやすい情報の提供」が44.4%と最も高く、次いで「製造所などでの衛生指導」が24.3%、「食品の抜き取り検査」が23.5%となっている。
 【性別】「わかりやすい情報の提供」が女性で46.4%と、男性の41.4%より5.0ポイント高くなっている。
 【年代別】「わかりやすい情報の提供」が40歳代(50.9%)で最も高く、次いで60歳代(46.1%)、30歳代(45.9%)となっている。

食品事業者が行う取り組みで不足していると思うもの

【問11】 食の安全・安心の確保のために食品を扱う事業者が行う取り組みについて、次の中から、あなたが不足していると思うものにいくつでも○をつけてください。

食品を扱う事業者が行う取り組みについて、「わかりやすい表示の推進」が不足していると思っている人が 43.1%

対象者全体(N=2,387)



	対象者数	わかりやすい表示の推進	食の安全・安心を推進していることのPR	自主的な衛生管理の推進	食品の自主検査	消費者・意見交換、事業者間の情報交換	その他	不足していることはない	わからない	無回答
対象者全体	2,387	43.1	37.0	34.6	25.5	17.4	1.3	2.3	19.1	4.2
《性別》										
男性	900	42.6	37.8	34.6	25.4	18.1	1.3	3.1	17.7	3.1
女性	1,457	43.7	36.6	34.7	25.6	17.0	1.3	1.9	19.8	4.3
《年代別》										
29歳以下	173	39.9	26.6	26.6	16.2	16.2	1.2	3.5	26.6	0.6
30歳～39歳	233	40.3	25.3	26.6	21.0	15.5	2.1	2.1	27.0	1.3
40歳～49歳	391	41.9	37.3	38.1	23.0	15.6	2.6	3.3	19.9	1.0
50歳～59歳	413	44.8	36.1	34.1	22.8	14.3	1.0	3.4	20.1	2.9
60歳～69歳	538	46.7	41.1	35.5	28.3	19.5	1.3	1.3	15.8	3.9
70歳以上	594	42.1	41.9	37.9	31.3	20.5	0.5	1.7	14.6	8.2

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】食品を扱う事業者が行う取り組みで不足していると思うものは、「わかりやすい表示の推進」が 43.1%と最も高く、次いで「食の安全・安心を推進していることのPR」が 37.0%、「自主的な衛生管理の推進」が 34.6%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「わかりやすい表示の推進」が 60 歳代 (46.7%) で最も高く、次いで 50 歳代 (44.8%)、70 歳以上 (42.1%) となっている。

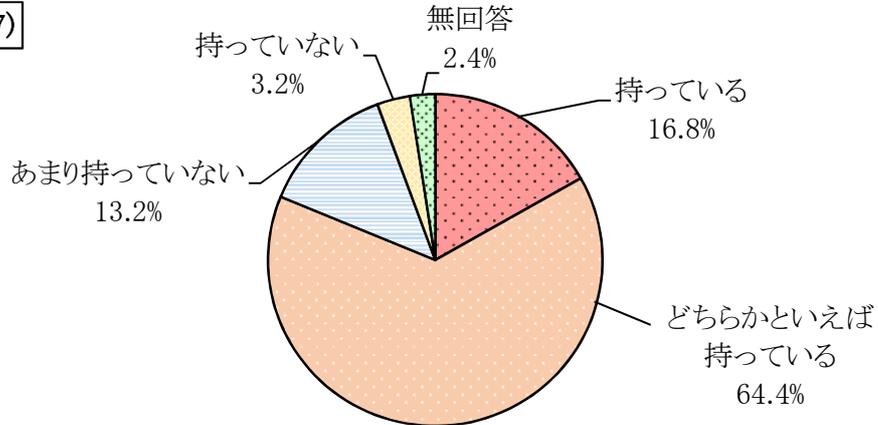
札幌の食に対する安全・安心のイメージ

【問12】 あなたは「札幌の食」に対して「安全・安心」というイメージを持っていますか。次の中から、あなたがもつイメージに近いものに1つだけ○をつけてください。

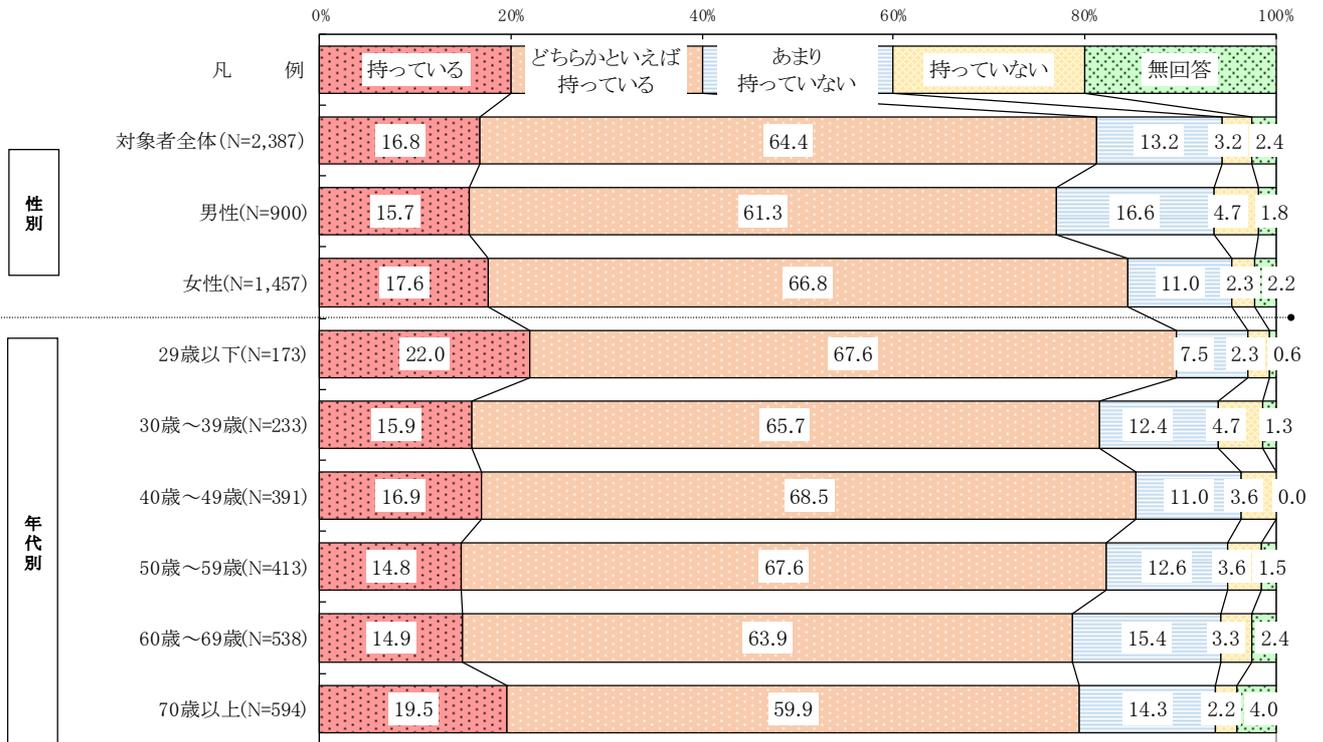
札幌の食に対して安全・安心というイメージを“持っている”人は81.2%

※“持っている”（「持っている」+「どちらかといえば持っている」）

対象者全体(N=2,387)



【対象者全体】札幌の食に対する安全・安心のイメージについて、「持っている」が16.8%、「どちらかといえば持っている」が64.4%、合わせると81.2%となっている。一方で、「あまり持っていない」が13.2%、「持っていない」が3.2%、合わせると16.3%となっている。



【性別】“持っている”が女性で84.5%と、男性の77.0%より7.5ポイント高くなっている。

【年代別】“持っている”が29歳以下(89.6%)で最も高く、次いで40歳代(85.4%)、50歳代(82.3%)となっている。

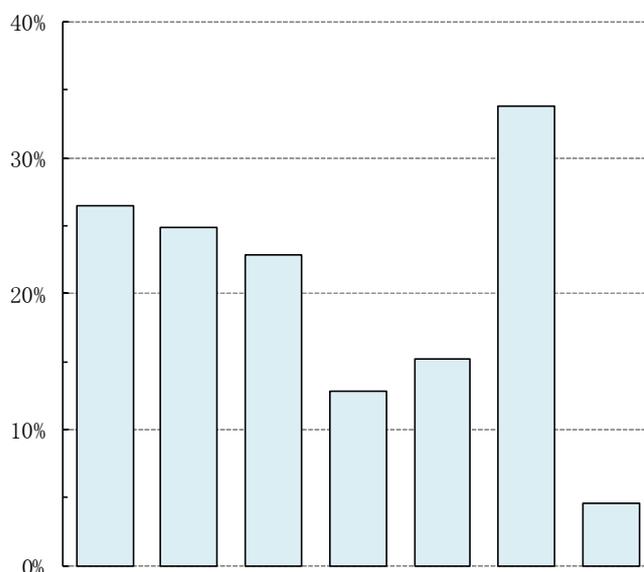
札幌の食に対して安全・安心のイメージを持っていない理由

《問12で、「3 あまり持っていない」または「4 持っていない」と答えた方にお聞きます。》

【問12-1】 あなたが、「札幌の食」に対して、「安全・安心」というイメージを持っていない理由は何ですか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌の食に対して安全・安心というイメージを持っていない理由は、「賞味期限などの食品偽装事件が発生したことがあるから」と回答した人が 26.4%

対象者全体(N=390)



	対象者数	賞味期限などの食品偽装事件が発生したことがあるから	不衛生な施設が営業しているから	食品表示のミスや食品へ異物が混入する事件が発生しているから	大規模な食中毒や、食中毒による死亡者が発生したことがあるから	その他	特に理由はない	無回答
	(%)							
対象者全体	390	26.4	24.9	22.8	12.8	15.1	33.8	4.6
《性別》								
男性	191	27.7	23.6	22.0	11.5	14.1	37.7	2.6
女性	194	24.7	26.8	23.2	13.4	16.0	30.9	5.7
《年代別》								
29歳以下	17	17.6	17.6	41.2	17.6	-	41.2	11.8
30歳～39歳	40	15.0	20.0	17.5	7.5	25.0	42.5	-
40歳～49歳	57	19.3	33.3	15.8	10.5	29.8	29.8	1.8
50歳～59歳	67	26.9	26.9	23.9	11.9	20.9	28.4	6.0
60歳～69歳	101	34.7	28.7	28.7	13.9	8.9	31.7	3.0
70歳以上	98	27.6	20.4	19.4	14.3	8.2	36.7	6.1

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上高い

対象者全体スコアと比較し10ポイント以上低い

【対象者全体】札幌の食に対して安全・安心というイメージを持っていない理由は、「賞味期限などの食品偽装事件が発生したことがあるから」が 26.4%と最も高く、次いで「不衛生な施設が営業しているから」が 24.9%、「食品表示のミスや食品へ異物が混入する事件が発生しているから」が 22.8%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「食品表示のミスや食品へ異物が混入する事件が発生しているから」が 29 歳以下(41.2%)で最も高く、最も低い 40 歳代(15.8%)と比べると 25.4 ポイントの差となっている。